

数理・データサイエンス・AI (MDA) 高度人材育成事業

数理・データサイエンス・AI (MDA) の飛躍的な発展により、これらの分野に関わる技術はこれからの情報化社会の基礎知識であり、自らの専門分野における課題解決のための重要なスキルとなっています。筑波大学は開学当初からMDAに関わる先進的な教育に取り組んできました。

筑波大学は、「高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援」(ハイレベル枠)に選定されたことを機に、令和5年度から本事業を開始しました。その主な取り組みとして、(1)海外協定大学やつくばの研究者との共同研究指導を進める**グローバル・マルチメンターシステム (GMMS)**、(2)博士学位取得と社会でのキャリア形成を同時進行する仕組みを提供する「修学×キャリア」ハイブリッド支援システム (LCHS)、(3)学生を介して学外研究者や企業がつながり研究の裾野が広がる場である**学修サロンハブ**があります。

世界で活躍する
研究者になりたい



修了後のキャリアパス
を見つけたい

グローバル・マルチメンターシステム (GMMS)

- Campus in Campus等のネットワークを活かした学外メンターの確保
- マッチングポータルサイトによる学外研究機関や企業とのマッチング
- 海外研究機関との研究交流イベントの開催

学修サロンハブ

学外研究機関や企業の研究者と学生が集まる空間を提供し、活発な人的交流を促進

「修学×キャリア」ハイブリッド支援システム (LCHS)

- 企業の研究者や卒業生が参加する授業やセミナーを開催することにより、企業と交流する機会を提供
- 企業との戦略パートナーシップ協定締結
- 業界研究セミナーの開催

